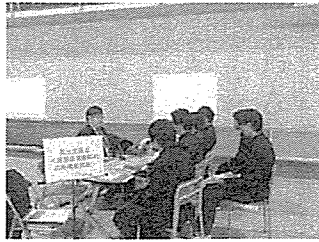


普通高校で初開催

進路ガイダンスに参加

報 告 的 協 議 推 進 戦 略 的 推 進

国土交通省や建設産業団体で構成する建設産業戦略的広報推進協議会は18日、埼玉県比企郡鳩山町の県立鳩山高等学校を訪れ、2年生の生徒に建設業の仕事内容や魅力を伝えるキャラバンを開催した。普通高校での開催は初めて。



当日は、同高が開催する進路ガイダンスの一環として、国土交通省のブースを出展。事前登録のあった生徒17人を3班に分け、建設業の仕事内容や職種を紹介し、「今、建設業に携わる人が少なくなっているが、就職して大きな仕事に携われるチャンスともいえる」と魅力をPRした。写真「おじいさんがやって

いるダンプの運転手になりたい」と希望の職種を決めている女子生徒がいる一方で、大半の生徒は進路選択に悩む。3年への進級にあたり、今月末に就職・進学を選択を控える生徒たちは、真剣に説明を聞いていた。

鳩山高校は卒業時半数の生徒が就職する。進路選択の参考に、例年12月に企業や大学への見学会を行ってきたが、今年度は同時期にインターシップを開催したことから進路ガイダンスを初めて開催することになった。大学や専門学校、約40の

企業が参画するなか、国土交通省のキャラバン活動を知った鳩山高校から参加の呼びかけがあった。

官民一体で取り組むキャラバンは、生徒や児童に建設業の社会的な役割

やものづくりの素晴らしさを直接語りかけ、交流するプログラム。昨年度から工業高校を対象に開始しており、今年度は小学校や中学校でも開催している。